

## ジョイサポコラム No.25

## 私の横須賀市との出会い

横須賀市立市民病院関節外科 阿部 奈々



はじめまして。この度、当院女性医師より、この女性医師支援委員を引き継がせて頂きました。宜しくお願い致します。

私は、横浜出身で群馬大学を卒業後、横浜市立大学附属病院初期研修医として、1年目は大学、2年目は横須賀共済病院で研修をしました。学生の時に横須賀共済病院に見学に行ったことが私の横須賀市との縁の始まりでした。以前は上大岡に住む祖母の家に遊びに行く以外は横浜より下り方面には出掛けたことがあまりなく、横須賀中央駅が随分遠い場所に感じました。横須賀共済病院形成外科で研修した際に部長だった北村理絵子先生に御世話になりました。三浦国際市民マラソンに研修医達と参加した際に北村先生のご自宅にお邪魔させて頂いたのは良い思い出です。今

回、この投稿の話をきっかけに久しぶりに北村先生からお電話を頂いた時は懐かしく、とても嬉しかったです。横須賀共済病院で研修中、地域医療研修の一環として、新村皮フ泌尿クリニック、久里浜医療センター、三浦市立病院でも研修しました。横浜市立大学整形外科に入局後、1年間大学に勤務した後、2年間大和市立病院に勤務することとなり、たまたま実家が近かったので久しぶりに実家に戻り通勤しました。その後、また横須賀市に戻り、現在の横須賀市立市民病院に勤務することになりました。研修医当時、新村皮フ泌尿クリニックに横須賀中央駅付近から原付で通勤していた際は、随分横須賀の田舎まできたなあと思い、この少し先に横須賀市立市民病院があると聞いても遠いイメージでした。横須賀市立市民病院に異動になり、新村皮フ泌尿クリニックの近所に住むことになった時は不思議な感じがしました。横須賀市立市民病院勤務中に夫と結婚しました。夫は東京勤務でしたが、西日本出身のこともあり、横須賀市のことは殆ど知りませんでした。しかし、初めて横須賀市に来た時、海軍の街である横須賀市を気に入り、結婚後は一緒に横須賀市内に住むことになりました。当初は夫の通勤を考慮し、横須賀中央駅付近に住みましたが、まもなくCOVID-19感染症蔓延により、テレワークとなり、ほぼ通勤不要となりました。コロナ禍の2020年に長女を出産しました。出産後、産休・育休を1年取得し復職しました。育休中に復職後の通勤を考え、夫が通勤不要になったため、再び横須賀市立市民病院



近隣に引っ越しました。現在は、手術や救急対応等で残業が長引いた時は、院内保育園に預けている子供を夫に代わりに迎えに来てもらい、テレワークのお陰で夫の協力が得られ助かっています。幼保二重保育型の保育施設のため、保育園から幼稚園に通園もでき、幼



稚園バスの対応も保育園の先生にお任せできて、環境に恵まれていると感じています。横須賀西部地区は鉄道が走っていないため不便に思えますが、バス停が近く、横浜行きの高速バスもあるので意外と生活できると思っています。